

# 「Unclassifiable Interstitial Pneumonia (UCIP) の診断一致率に関する研究」について

当院では、標記研究を実施しております。

## 1. 研究意義、目的

特発性間質性肺炎の診断は、診断経験に富んだ呼吸器専門医、放射線科医、病理医が検討を行い診断していきます。しかしながら、特発性間質性肺炎のおよそ10%は特定の分類に当てはめることができず、分類不能とされ、分類不能型間質性肺炎と定義されています。分類不能型間質性肺炎の中には、特発性肺線維症のような、予後不良で治療を要する疾患が少なからず含まれていると推察され、どのようにそれらの疾患群を抽出するかは極めて重要です。

この研究では、分類不能型間質性肺炎の患者さんの情報を集積し、呼吸器専門医、放射線科医、病理医によって再検討をおこない、その診断一致率を検討し、なぜ分類不能型と診断されるのかを考察し、分類不能型間質性肺炎の予後との相関を検討し、今後、同様の患者さまの治療に役立てることを目的としています。

## 2. 研究対象

2013年1月1日から2014年8月31日までの間に、NHO 近畿中央胸部疾患センターに通院または入院し、間質性肺炎に対して外科的肺生検を受け、分類不能型間質性肺炎と診断された患者さまが対象です。

## 3. 研究内容

患者さまの臨床情報をカルテから調べて、病気の内容、病気の程度、治療内容、検査データなどを長崎大学病院病理診断科に集積し、呼吸器専門医、放射線科医、病理医で再検討、診断を行います。各医師による診断の一致率を検討します。

## 4. 方法

当院、公立陶生病院、神奈川県立循環器呼吸病センターより、全体で25例集めます。各施設の医師たちをグループに分け、再診断を行います。各グループによる診断の一致率を検討し、どのように考えて分類不能型と診断したかを討議して情報を共有します。

## 5. 個人情報の取り扱い

個人情報、資料（臨床情報など）を全て連結可能匿名化します。資料等を院外へ送付する場合は匿名化されたものだけを提供します。

## 6. 他の研究機関に既存資料・情報の提供について

個人情報は完全に匿名化いたしますが、患者さまの臨床情報を他の研究機関へ提供することに不都合がある場合、下記の問い合わせ先に申し出下さい。資料提供を中止させていただきます。

この研究に関しご不明な点がございましたら下記へお問い合わせ下さい。

研究代表者 井上義一

施設研究責任者 井上義一（NHO 近畿中央胸部疾患センター）

問い合わせ先 TEL 072-252-3021